

令和3年度事業報告

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月 31日

当舗装研究委員会は、現在7つの小委員会を構成し、それぞれのテーマに基づき、精力的な活動を行い数々の実績をあげ、その成果はそれぞれの分野において反映されております。

以下、令和3年度、1年間の事業活動について報告いたします。

I. 委 員 数

122名（令和3年度当初）

II. 会 議

1. 第41回通常総会（Web開催）

日 時 令和3年6月9日（水）

議 事

第1号議案 令和2年度 事業報告について

第2号議案 令和2年度 収支決算報告及び監査報告について

第3号議案 令和3年度 事業計画(案)及び収支予算(案)について

報 告

(1) 委員の変更

(2) 役員の変更

2. 講演会及び活動報告会（Web開催）

(1) 各小委員会 活動報告

講演講習小委員会 委員長 長屋 弘司

コンクリート舗装小委員会 副委員長 角尾 崇

(2) 講 演

全体テーマ「北海道胆振東部地震時の迅速な舗装復旧の取り組み」

「日高自動車道における舗装復旧について」

道路工業株式会社

技術監理役 長屋 弘司

「東15丁目屯田通における舗装復旧について」

大同舗道株式会社 道央営業所 副所長 成田 俊一

3. 交流会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止

Ⅲ. 幹事会

(1) 第1回 令和3年4月20日(火) メール審議

議 題

- 1) 総会のオンライン開催について
- 2) 議案書の確認について

(2) 第2回 令和4年2月9日(水) Web開催

- 1) インフラメンテナンス国民会議 講習会(2/24)の共催について
- 2) 国際ワークショップ JRPUG2022(10月29日～30日)の共催について
- 3) 史料収集小委員会を技術基準小委員会に合流合併することについて
- 4) 各委員会活動状況報告
- 5) その他

IV. 小委員会活動

(1) 技術基準小委員会

(委員長 丸山記美雄 副委員長 小倉正三、斎藤昌之)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止

(2) 講演講習小委員会

(委員長 長屋弘司 副委員長 後藤明雄、鴨 智彦)

1) 北海道科学大学都市環境学科講演会の開催

日 時：令和3年7月9日(金) 13:00～15:00

場 所：北海道科学大学 E401 (オンライン配信)

講演者：国土交通省 道路局 環境安全・防災課

道路防災対策室 室長 信太啓貴 (のぶたひろたか) 氏

題 目：土木技術者の方々に知っておいて欲しい5つのこと

- 1) 建設分野で働くということ
- 2) 行政（施設管理者）との関わり
- 3) 公共事業予算
- 4) 建設分野の最新の取り組み・課題
- 5) 北海道（土木技術者の）への期待

参加者：58名 (Zoom 配信) アクセス 89名 (北海道科学大学 学生含む)

2) インフラメンテナンス技術（舗装）講演会@北海道の共催

日 時：令和4年2月24日(金) 13:30～16:00

会 場：オンライン方式

プログラム：

- ・開会挨拶 インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラムリーダー
北海道大学教授 高野 伸 栄 氏
- ・講演1 「舗装の点検と診断について」
北海道土木技術会 舗装研究委員会 委員長
北海道科学大学教授 亀山 修一 氏
- ・講演2 「舗装の長寿命化に関する技術について」
北海道土木技術会 舗装研究委員会 幹事長
土木研究所寒地土木研究所 丸山 記美雄 氏
- ・講演3 「自治体の新技術に関する取り組み紹介
千歳市における簡易路面性状調査の実証実験」
インフラメンテナンス国民会議 北海道フォーラム 舗装グループ
地崎道路株式会社 山田 雄一 氏

参加者：180名強（Zoom 配信）

3) 土木の日パネル展 2021 への出展

日 時：令和3年11月17日(水)・18日(木) 10:00～19:00

場 所：札幌駅前地下歩行空間 北大通交差点広場（東）

共 催：土木学会北海道支部 イブニングシアター（映像展示）

展示物：① 縦型共通パネル（920×1600） 1枚

② 土木遺産パネル（札幌・千歳間弾丸道路）（B1 縦） 3枚

③ 舗装事業による社会貢献（B1 縦） 1枚

観覧者：11月17日 399名 11月18日 437名 計 836名（昨年 501名）

(3) 技術史料収集小委員会

（委員長 佐々木博志 副委員長 大橋 紀、家子 仁）

1) 電子資料管理プログラム「SIRYO2010」のデータベースの管理

2) 現委員長および副委員長の退任に伴う体制の検討

- ・現在の小委員会体制の維持は困難であると判断し、当小委員会を技術基準小委員会に合併合流して、すべての活動内容を引き継いでもらうこととした。
- ・今年度をもって技術史料収集小委員会としての活動は停止する。

(4) 軽交通舗装小委員会

（委員長 諏訪辺 展宏 副委員長 佐藤 巖、若林裕也）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止

(5) 舗装マネジメントシステム小委員会

（委員長 川村 彰 副委員長 伊藤憲章、広瀬史生）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止

(6) コンクリート舗装小委員会

（委員長 川端伸一郎 副委員長 小林暁、角尾 崇）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動中止

(7) 五輪マラソン舗装小委員会

(委員長 丸山記美雄 副委員長 佐々木博志)

1) 委員会の開催 (1回) Web 開催

令和3年7月29日(木)10:00~12:00 (出席者:15名)

① 競技当日の取り組みについて

- ・組織委員会により、観戦自粛要請が徹底されている状況であり、競技当日の活動は実施しないこととなった。

② 競技後の取り組みについて

- ・土木の日のパネル展示を念頭においたパネル作成およびリーフレットの作成を行うこととなった。

③ 委員会の活動

- ・五輪開催年度までの時限付き小委員会であり、令和3年度の活動をもって終了の予定。